

環境対策優良事業場表彰を受賞して

熊本合同庁舎A棟建築工事

前田建設工業株式会社 九州支店
熊本合同庁舎作業所
所長 三輪 哲郎

1. はじめに

この度、当作業所が日本土木工業協会環境委員会の「公害防止・建設副産物管理優良事業場」の委員長表彰という荣誉ある受賞を賜り、大変光栄であり、誠に有り難く思います。

また、発注者であります九州地方整備局熊本営繕事務所をはじめ、関係諸官庁、各協力業者皆様方のご指導・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

2. 工事概要及び周辺環境

熊本合同庁舎A棟建築工事は国土交通省九州地方整備局発注の公共工事であり、2010年度末の九州新幹線全線開業に向け、JR熊本駅周辺整備事業と連携し、まちづくりに寄与する合同庁舎建設工事であります。熊本県、熊本市及び近隣住民からの注目度も高く、竣工を待ち望まれております。

熊本駅周辺では当工事を含め、8つの公共整備事業が進められております。そのため、周辺工事との工程調整等多くの制約条件があります。

当作業所では地域の渋滞緩和のため、朝の通勤通学時間帯（7時～9時）は搬出入を自粛するなどして、周辺環境への影響を考慮するよう努めております。

当工事敷地はJR鹿児島本線と熊本市電路面電車に挟まれた工場跡地であり、二本木遺跡群があるため、埋蔵文化財調査対象地域となっており、工事において

も文化財保護法に則った手続きを要します。

資材揚重には180tクローラークレーンを2台使用しておりますが、敷地西側でのクレーン作業はJR近接工事に該当するため、列車見張員を配置しての作業となります。

3. 環境対策

1) 公害防止管理

①大型車両の通行により路面電車の軌道沈下を発生させないよう横断しない搬出入方向としています。

②ほこり対策として碎石敷き部分については適宜散水車にて散水を行っております。

尚、散水用の水は地下ピットに集水した雨水を汲み上げて利用することで環境負荷低減も図っております。

③掘削工事中のディープウェルによる地下水排水は、届出を行い河川へ放流しましたが、濁水処理プラントを設置し経路することにより、より良い状態で排出しました。

2) 建設副産物管理

廃棄物の最終処分量を低減するために、発生抑制、減量化、リサイクルに取り組んでおります。

①山留連続壁では泥土低減工法を採用することにより汚泥発生量を半減し、さらにその汚泥処理はリサイクル率100%の中間処理施設に委託しました。

②基礎躯体型枠に鋼製型枠を使用し、地下ピットスラブ型枠には型枠兼用断熱材を採用することにより、ベニヤ使用量を削減しました。

③ALC版、シーリング缶、石膏ボードの廃材については、メーカーの広域認定制度を積極的に活用することにより、リサイクルを図っています。

④耐火被覆ロックウール廃材を分別回収し、中間処理施設を経由して再生委託先のセメント工場でサーマルリサイクル100%としています。

⑤メーカーの協力を得て、タイル梱包材のリターナブル包装を実施したほか、LGS副資材や鉄骨仮ボルトに通い箱を使用することにより、梱包材の削減に努めています。

3) その他

常に整理整頓された現場を維持するために週2回の一斉清掃を実施しており、隣接市道及び県道の清掃や草取りも定期的に行っています。

また各団体からの見学会・研修会の要請を受け、工事説明では環境への取り組み事例や社会貢献活動等を紹介することにより、工事現場のイメージアップも努めております。

4. おわりに

弊社は「環境経営No.1と言われる建設会社」を目指しており、我々作業所職員一同、当工事現場から環境経営No.1に貢献する取り組みを確実に実行していくといった強い意志決定のもと、環境問題に対し法令遵守にとどまらず環境負荷低減活動を積極的に取り組んで参りました。

この度の受賞を自信と励みに弊社作業所の模範となり、これらの取り組みを全社に水平展開し、環境対策に対し更なる貢献をしていく所存でございます。

今後とも土工協本部・支部の皆様方をはじめ、関係者の皆様方には引き続きのご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

